



東京産業保健総合支援センター研修案内(令和4年9月)

- ◇研修は当センターのホームページからお申し込みください。※利用者登録(無料)が必要です。
- ◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。
- ◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=https://www.tokyos.johas.go.jp

◆日医認定産業医研修◆

※基礎研修は実施しておりません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

◆注意◆

令和2年10月開催分から「日医認定産業医研修」の受付方法を変更いたしました。

お1人様、月1回のみのお受講となっておりますので、必ず当センターホームページに掲載してある【「日医認定産業医研修会」の受付方法の変更について】をご覧ください、ご了承の上、お申し込みください。

日医認定産業医研修(令和4年9月開催分) 申込受付日時 早見表

申込受付日時		研修日時		研修テーマ	単位
8月15日(月)	10時～	9月5日(月)	14時～16時	うつ病・リワーク	専門2
	10時30分～	9月12日(月)	14時～16時	自律的な化学物質管理～リスク評価・対策と健康管理の有機的な連携～	更新2
	11時～	9月26日(月)	14時～16時	職場のメンタルヘルスにおける依存症	専門2
8月17日(水)	10時～	9月21日(水)	14時～16時	労働安全衛生法の理解を深める～法律の趣旨、体系や法律の読み方を理解する～	更新2
8月18日(木)	10時～	9月8日(木)	14時～16時	労働安全衛生法規制の新しい動き～個人事業者に対する安全衛生管理と化学物質の新たな規制～	更新2
	10時30分～	9月29日(木)	14時～16時	小売業・飲食店における労働災害防止の進め方	専門2
8月19日(金)	10時～	9月2日(金)	14時～16時	事例検討～職場のアルコール問題の解決～	実地2
	10時30分～	9月9日(金)	14時～16時	産業保健と法～パーソナリティの問題がうかがわれる労働者への対応法～	更新2
	11時～	9月16日(金)	14時～16時	産業保健政策の変遷と課題	更新2

研修日時	研修テーマ	講師	単位	定員
9月2日(金) 14:00～16:00 申込受付日時 8月19日(金) 10時～定員に 達し次第受付終了	事例検討～職場のアルコール問題の解決～ 職場の10人に1人はアルコール問題を抱えていると言われており、その多くは健康診断の事後措置で産業医の前に現れます。今回の研修では軽症から重症まで具体例を取り上げながら介入のポイントを一緒に探って参りましょう。各事例で自記式ワークシートを用意し、面接場面を文字で再現しながら実地演習を行います。	(株)ジャパンEAP システムズ 取締役・顧問医 米沢 宏	生涯・ 実地2	24
9月5日(月) 14:00～16:00 申込受付日時 8月15日(月) 10時～定員に 達し次第受付終了	うつ病・リワーク 産業精神保健領域において、うつ病・双極性障害に罹患した労働者への対応は重要課題です。最近では、遷延化例や休職・復職を繰り返すものも多く、職場関係者にとっても苦慮することが少なくないです。こうした諸問題の解決への手がかりとなるのがリワークプログラムの活用です。この講義では、リワークプログラム提供施設の特徴や、プログラム内容の意義などについて紹介します。	大西 守	生涯・ 専門2	24
9月8日(木) 14:00～16:00 申込受付日時 8月18日(木) 10時～定員に 達し次第受付終了	労働安全衛生法規制の新しい動き～個人事業者に対する安全衛生管理と化学物質の新たな規制～ 2021年の最高裁判決を受け、労働者ではない一人親方等(個人事業者)の安全衛生対策を盛り込んだ安全衛生規則の改正がなされました。また、化学物質については個別具体的な規制を課す方式から、危険性・有害性が確認されたすべての物質を対象に濃度の管理・低減を行うが、その達成手段は事業者が自ら選択できる方式に切り替わることになりました。従来と大きく違う規制となる二つの動きについて考えたいと思います。	中山 篤	生涯・ 更新2	24

<p>9月9日(金) 14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 8月19日(金) 10時30分～ 定員に達し 次第受付終了</p>	<p>産業保健と法～パーソナリティの問題がうかがわれる労働者への対応法～</p> <p>とある法人で、パソコンスキルはあるが、職務や他のスタッフとの調和が難しい労働者を雇用したところ、ハラスメント訴訟に発展し、その後精神疾患で休職し、病気の症状は改善したが、産業医の判断により、法人が復職を拒否したところ、更に訴訟が生じたというケースを素材として、関連する法律知識をQ&A形式で論じます。 健康情報等の取扱い、復職判定基準、ハラスメント、パーソナリティに問題を抱える労働者への対応方法など、多くの論点に触れる予定です。</p>	<p>MOS合同法律事務所 弁護士 小根山 祐二</p>	<p>生涯・更新2</p>	<p>24</p>
<p>9月12日(月) 14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 8月15日(月) 10時30分～ 定員に達し 次第受付終了</p>	<p>自律的な化学物質管理～リスク評価・対策と健康管理の有機的な連携～</p> <p>化学物質の管理が、規制主義から自律管理に政策変更されます。 有機溶剤を事例として取り上げて、自律管理におけるリスク評価、保護具を含めたリスク対策の適切な選択、そして健康管理との連動について考えます。</p>	<p>中原 浩彦</p>	<p>生涯・更新2</p>	<p>24</p>
<p>9月16日(金) 14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 8月19日(金) 11時～定員に 達し次第受付終了</p>	<p>産業保健政策の変遷と課題</p> <p>主として明治時代以降の日本の産業保健の歴史を概観するとともに、重要課題の今後の展望を考えていきたいと思います。</p>	<p>石井 義脩</p>	<p>生涯・更新2</p>	<p>24</p>
<p>9月21日(水) 14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 8月17日(水) 10時～定員に 達し次第受付終了</p>	<p>労働安全衛生法の理解を深める～法律の趣旨、体系や法律の読み方を理解する～</p> <p>労働安全衛生法は、昭和47年(1972年)に制定されて以来、50年が経ちました。その間、重大な労働災害の発生や社会情勢の変化に対応するため、数多くの法律改正が行われ、省令や告示の新設、改正は数えきれないくらい行われました。労働安全衛生法と関連の政省令、告示等はますます複雑膨大になってきています。労働安全衛生法の理解を深めていただくために、法令はどのようなプロセスを経て制定されるのかを説明した上で、労働安全衛生法の趣旨、体系、改正の歴史や法律の読み方を分かりやすく解説します。同法の第7章「健康の保持増進の措置」については、詳しく解説します。</p>	<p>荒川 輝雄</p>	<p>生涯・更新2</p>	<p>24</p>
<p>9月26日(月) 14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 8月15日(月) 11時～定員に 達し次第受付終了</p>	<p>職場のメンタルヘルスにおける依存症</p> <p>人は、気持ちに余裕がなくなるとストレス発散なのか嗜癖に陥り易いものです。 例えば、アルコール、薬物、異性やギャンブルなどに。職場のメンタルヘルス問題の背景にも、依存(症)が隠されているかもしれません。一緒に依存症を概観し、症例を考えてみましょう。</p>	<p>長尾 博司</p>	<p>生涯・専門2</p>	<p>24</p>
<p>9月29日(木) 14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 8月18日(木) 10時30分～ 定員に達し 次第受付終了</p>	<p>小売業・飲食店における労働災害防止の進め方</p> <p>厚生労働省は、第13次労働災害防止計画(2018年度～2022年度)において、小売業、飲食店等、第三次産業の労働災害防止を重点対策に掲げ各種施策を推進していますが、小売業、飲食店の労働災害は未だ増加し続けています。そこでは、転倒災害、腰痛など、従来型の対策が難しいと言われる行動災害(労働者個人の行動に起因する災害)が多く、小売業には、総合スーパー、衣料品スーパー、家電・家具量販店、コンビニなど、飲食店には、ファストフード、居酒屋、回転寿司、カフェなど様々な業態があり、業態特性に応じた対策が求められます。また、転倒災害の原因には、つまずき、すべりなどの物理的要因の他、作業者の身体機能の低下、焦り、イライラ、漫然、疲労などの心理的・内的要因も関わってきます。本研修では、これら小売業、飲食店の労働災害の特徴、労働災害が減少しない原因、数は少ないながら労働災害を減少させた企業の取り組み事例、職場巡視のポイントなどを紹介します。</p>	<p>労働安全衛生総合研究所 新技術安全研究グループ 特任研究員 高木 元也</p>	<p>生涯・専門2</p>	<p>24</p>
<p>◆本研修を受講する方へのお祝い◆ 研修講師が勤務する「労働安全衛生総合研究所」で産業医マニュアルの作成に取り組んでいますが、その作成に当たり皆さまの意見を参考にさせていただきたいと思っております。 受講生の方には、当日配付するアンケートへの回答をお願いします。 アンケートは当日配付する研修資料(テキスト)の内容に関するもので、主に選択肢式であり、最後に1～2問自由記述でご意見を伺います。</p>				

◆保健師・看護師研修◆

※単位等の取得はできません。

●保健師・看護師研修の申込受付開始は、すべて**8月22日(月)10時～**です。

<web研修> ◆当センターホームページの「web研修会受講の注意事項及び受講手順」を必ずご覧の上、**お申し込みください**◆

研修日時	研修テーマ	講師	単位	定員
9月6日(火) 14:00～16:00	<p>【web研修会】 職場の感染症対策～新型コロナウイルス対策を中心に～</p> <p>産業保健スタッフの業務として職場の感染症対策の重要性が増しています。これには季節性インフルエンザなど日常的に発生する感染症だけでなく、現在流行中の新型コロナウイルス感染症についても十分な対策を構築しておく必要があります。本研修では国内の職場や海外派遣労働者にリスクのある感染症対策の最新情報を解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p> <p>◆講義の後、チャットにて質問を受け付ける予定です◆</p>	濱田 篤郎	単位なし	45
9月15日(木) 14:00～16:00	<p>【web研修会】 産業保健スタッフ等が知っておきたい国が支援する7つの最新キーワード&ツール⑦</p> <p>産業保健スタッフ等(保健師・看護師、人事労務担当者等)が、経営トップに説明したり、労働者に研修したりする際に、「使えるネタ」を提供します。「テレワークに対応したメンタルヘルス対策」、「健康経営優良法人認定制度」、「SNS相談」などのキーワードを最新情報と共に解説いたします。また、法に基づくストレスチェック制度を実施した後、集団分析結果を踏まえた職場環境改善活動時に使える最新ツールや、企業の取り組み事例、工夫のポイントなども紹介します。本講義を通じ、自社に持ち帰った上で、働く人のメンタルヘルスに関し説明する力が身につけられることを願っております。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p> <p>◆講義の後、チャットにて質問を受け付ける予定です◆</p>	「こころの耳」 事務局長 石見 忠士	単位なし	25

<会場研修>

研修日時	研修テーマ	講師	単位	定員
9月7日(水) 14:00～16:00	<p>産業看護職交流会 第3弾！「産業保健スタッフとして 個と組織への関わり」～職場復帰支援の実践における問題・課題は～</p> <p>「復職支援の実践をしているが、思うよう復帰へ進まない・・・」「職場・上司の理解が薄く・・・」「一人職場の今、進められない・・・」「復職支援のアプローチはこれでいいのか・・・」等職場復帰支援状況はいかがでしょうか。ケースバイケースの要素も多いと思いますが、休職期間が長引いたり、復職しても再発したりするかもしれません。今回、久し振りに対面の交流会を行います。『個と組織』を意識しながら、主治医や人事との連携、上司への伝え方等、日々奮闘している産業看護職の皆様と気がかりや工夫点等、情報共有&意見交換できる場にしたいと思います。今回、参加者の皆様から可能であれば事例提供をして頂き、いろいろ検討できることを願っております。ご協力頂ければ大変嬉しいです。</p> <p>参加を希望される方は、お手数ですが、以下の①、②のアンケートにご回答ください。なお、アンケートの回答は、参加申込後、当センターから「アンケート回答依頼」メールをお送りいたしますので、そちらへご入力ください。</p> <p>[アンケート内容] ①職場復帰支援の事例提供について（提供できる・提供できない）提供できる場合は、差し支えない範囲で事例をご記入ください。 ②他の事業場の産業看護職(保健師・看護師)にお聴きしたいこと</p>	菅野 由喜子	単位なし	20
9月27日(火) 14:00～16:00	<p>新型うつ、適応障害、発達障害、いわゆる「グレーゾーン」とどうつきあうか、育て直しの職場コミュニケーションを考える</p> <p>新型うつ、適応障害、発達障害など職場の不応は軽症化するものの多様化が進んでいる。診断がつくほどではないが(弱い疾病性)、症状が隠れていて本人も周囲も気づきにくい困っている(強い事例性)ケースに職場はどうつきあっていけばいいのか。コミュニケーションの取り方を変えて「育て直し」していくことを考えていきます。(研修の内容は前回開催(令和4年7月26日)と同内容です。) (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	廣川 進	単位なし	12

◆人事・労務・衛生管理者研修◆

※単位等の取得はできません。

●人事・労務・衛生管理者研修の申込受付開始は、すべて**8月22日(月)10時～**です。

<web研修> ◆当センターホームページの「web研修会受講の注意事項及び受講手順」を必ずご覧の上、**お申し込みください**◆

研修日時	研修テーマ	講師	定員
9月6日(火) 14:00～16:00	<p>【web研修会】 職場の感染症対策～新型コロナウイルス対策を中心に～</p> <p>産業保健スタッフの業務として職場の感染症対策の重要性が増しています。これには季節性インフルエンザなど日常的に発生する感染症だけでなく、現在流行中の新型コロナウイルス感染症についても十分な対策を構築しておく必要があります。本研修では国内の職場や海外派遣労働者にリスクのある感染症対策の最新情報を解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p> <p>◆講義の後、チャットにて質問を受け付ける予定です◆</p>	濱田 篤郎	45
9月15日(木) 14:00～16:00	<p>【web研修会】 産業保健スタッフ等が知っておきたい国が支援する7つの最新キーワード&ツール⑦</p> <p>産業保健スタッフ等(保健師・看護師、人事労務担当者等)が、経営トップに説明したり、労働者に研修したりする際に、「使えるネタ」を提供します。「テレワークに対応したメンタルヘルス対策」、「健康経営優良法人認定制度」、「SNS相談」などのキーワードを最新情報と共に解説いたします。また、法に基づくストレスチェック制度を実施した後、集団分析結果を踏まえた職場環境改善活動時に使える最新ツールや、企業の取り組み事例、工夫のポイントなども紹介します。本講義を通じ、自社に持ち帰った上で、働く人のメンタルヘルスに関し説明する力が身につけられることを願っております。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p> <p>◆講義の後、チャットにて質問を受け付ける予定です◆</p>	「こころの耳」事務局長 石見 忠士	25

<会場研修>

研修日時	研修テーマ	講師	定員
9月27日(火) 14:00～16:00	<p>新型うつ、適応障害、発達障害、いわゆる「グレーゾーン」とどうつきあうか、育て直しの職場コミュニケーションを考える</p> <p>新型うつ、適応障害、発達障害など職場の不応は軽症化するものの多様化が進んでいる。診断がつくほどではないが(弱い疾病性)、症状が隠れていて本人も周囲も気づきにくい(強い事例性)ケースに職場はどうつきあっていけばいいのか。コミュニケーションの取り方を変えて「育て直し」ていくことを考えていきます。 (研修の内容は前回開催(令和4年7月26日)と同内容です。) (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	廣川 進	12